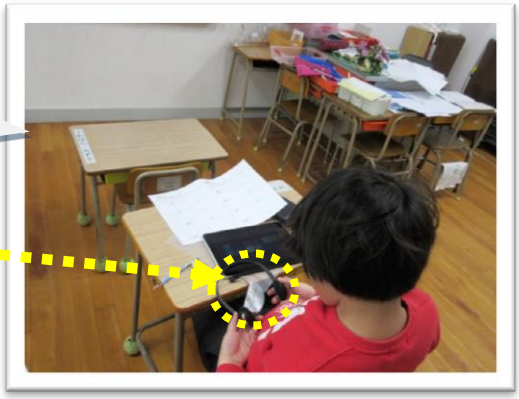
# ひまわり学級６組　タブレットを使った学習の様子

４年生児童　算数の学習中！
タブレットを使って角度を調べています。
クイズ形式になっているのでやる気が出ます。
正解すると楽しい画面になります。

４年生児童　算数の学習中！
タブレットと合わせて、分度器も使います。本物を使うとわかりやすいです。



４年生児童　算数の学習中！
学習の仕上げに自分で問題を解いてみます。少し難しい問題もありましたが、何とか答えを出しました。先生から、花まるをもらいました。集中力が持続しているのはタブレットのおかげ。

5年生児童　学習中！
学習に集中している様子がうかがえます。

**5 年生児童　タブレット使用後の学習の様子です。2 人とも正しい姿勢ですわり、担任の指示を静かに聞くことができています。これもタブレット効果です。この後、2 人はプリントを使った学習にも意欲定期に挑戦していきます。**

■自由ヶ丘小学校

児童数　５３３人（３５人）
クラス数　各学年３クラス全１８クラス、特別支援学級６クラス、通級指導教室３教室

特別支援学級とは…
教育上特別な支援を必要とする児童生徒のためにおかれた学級で、①視覚障害②聴覚障害③知的障害④肢体不自由⑤病弱⑥情緒障害の区分に応じて学級を設置。１クラスに８人までの児童生徒が学ぶ。このため、複数の学年が同じクラスに在籍する。一人ひとりの障害の程度を考慮し、学習上または生活上の困難を克服するために、実情にあった教育課程を編成して、きめ細やかに指導する。担任は１人であるため、児童生徒個々の進度に応じた指導が求められる。

平成 28 年 4 月 19 日

自由ヶ丘小学校　ひまわり 6 組担任　小松原留美子

## 1. 子どもにとってのタブレットの利点（学力面）

### ○わり算やかけ算の筆算の練習において

・わり算やかけ算の筆算の計算練習ができる学習サイトを使って計算練習をすることで・・・

→指定のマスにどんな数を入れたらいいのかガイドに従って練習できるので、一人でも解くことができる。

→繰り返し練習することで、ガイドを表示しなくてもできるようになる。ガイドあり・なしを選択し、自分の今のレベルに合わせて学習することができる。

・計算の手順の動画を見て、計算の手順を確かめると・・・

→動画は何度も繰り返し観ることができるので、計算の手順を忘れたり不安になったりしたら動画を観て確かめることで、自信をもって計算することができる。

### ○かけ算九九の習得において

・かけ算の計算練習ができる学習サイトを使って計算練習をすることで・・・

→×１、×２と順番に答えていく問題や、ばらばらの順番で出てくる問題の練習ができ、自分のレベルに合わせて練習ができる。

→５秒以内に回答しないと正解にならない問題もあり、瞬時に答えを出せるまで練習ができる。

### ○角の大きさの学習において

・分度器で角度を調べる練習ができるアプリを使うことで・・・

→不器用で、分度器を辺にきちんとそろえることが苦手な子でも、一人で分度器での角度の測り方をどんどん練習することができる。

### ○ローマ字学習において

・ローマ字を選んで並び変える学習サイトを使って練習することで・・・

→アルファベットを書くのが難しい子でも、文字を選んで並び替えることで、ローマ字で言葉を作る練習ができる。

→ローマ字で言葉を作る練習を繰り返すことで、ローマ字で書かれた言葉を読めるようになっていく。

→小文字・大文字の両方で練習でき、ローマ字を覚えることができる。

### ○都道府県の学習において

・都道府県パズルのアプリを使うことで・・・

→パズルのピースが都道府県の形になっていて、都道府県名が表記されているので、都道府県

の名前と形、場所を覚えることができる。
→地方ごとにピースの色が違うため、地方のまとまりがわかりやすく、覚える時に役立つ。
→全問正解するまでの時間が計られるため、速いタイムで正解できるようになるまで、繰り返し練習することができる。

**2. 子どもにとってのタブレットの利点（意欲面）**

・かけ算九九の学習サイトは、アニメーションがあり、ゲーム感覚で繰り返し挑戦したいという気持ちになる。
・かけ算やわり算の筆算の学習サイトは、正解かどうかすぐに判定し、正解だと画面上に大きな花丸が表れるようになっているので、達成感を感じやすく、次の問題への意欲がもてる。
・２桁でわるわり算の筆算で仮商の修正が必要な問題の練習では、プリントと違って数字を書き直すことがボタン一つでできるため負担感が少なく、あまり抵抗なく仮商の修正をすることができる。
・学習予定の終わりにタブレット学習の時間があることで、苦手な課題でも最後まで頑張ろうとする意欲をもつことができる。
・かけ算九九の学習サイトで制限時間があるものに取り組むことで、九九を覚えることの必要性を感じ、唱えて覚える活動にも意欲的に取り組むことができる。
・問題を解き終えるまでの時間が出るアプリでは、次にするときにはもっと速くできるようになろうと、目標をもって繰り返し挑戦することができる。
・プリント学習では、あまりたくさんの問題を解きたがらない子も、タブレットでの練習では何問でも気持ちを乱さずに解くことができる。（例：かけ算の筆算の練習で、「３問ずつしか解かない」と言っていた子が、タブレットだと２０問近く解くことができていた。）

**3. 教師にとってのタブレットの利点**

・異学年の学習を同時に教えているとき、一方の学年にタブレット学習をさせることで、もう一方の学年にじっくり教えることができる。
・「〇〇ってどんなもの？」などの質問を子どもからされた場合、検索してすぐに説明・写真・動画などを見せることができる。国語辞典で調べることもあるが、タブレットを使うと文字だけよりも写真などいろいろな資料を提示できるので、より分かりやすく教えることができる。
・プリントでも練習させるが、タブレットを使うことで、よりたくさんの問題を無理なくさせることができる。
・学習予定の中にタブレット学習の時間を組み込んでおくことで、学習への意欲を保持させることができる。